

事業名 令和5年度 第62回中越地区社会教育研究集会 小千谷・魚沼大会

目的 中越地区の社会教育委員や社会教育関係者が一堂に会し、地域社会の現状を把握するとともに、主題に沿って研究協議を行う機会とする

実施主体 主催：中越地区社会教育委員連絡協議会

参加対象 社会教育委員、社会教育関係者

参加者数 116名

期 日 令和5年8月10日（木）

会 場 魚沼市小出郷文化会館

内 容

	時間	講 演	講師
1	70分	生きる喜びを感じられる学び ～ 社会的包摂における社会教育の役割 ～	新潟医療福祉大学健康科学部 健康スポーツ学科 講 師 佐藤 裕紀 様
	内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ “生きる喜びを感じられる” 学びとは 「ウェルビーイング」「社会的包摂」 ・ 社会教育でどんな取組、役割が大切か 	
	時間	事例発表	発表者
2	30分	社会教育委員の得意分野を活かした 「みつけ元気塾」のリニューアル！ ～持続可能な「循環型」活動をめざして！～	見附市教育委員会社会教育委員4名
	内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見附市の社会教育委員の概要 ・ 「みつけ元気塾」のスタートから現在までの活動状況 ・ 「みつけ元気塾」の課題と再出発 ・ 活動の再構築と将来像 	



- 成 果**
- 参加者アンケートでは、全体の満足度は98%の肯定的な評価であった。
 - 講演では、生涯学習、社会教育の現状と課題や「ウェルビーイング」「社会的包摂」について、分かりやすく教えていただいた。誰もがハンディなく活躍できる在り方の具体例が示され、社会教育の役割を考える大変有意義な機会となった。
 - 事例発表は、社会教育委員として抱える課題や悩み、再出発までの経緯や活動の再構築などを発表していただいた。共感した参加者も多く、自市町村の取組や社会教育委員としての在り方を考える上で、大いに参考となる事例であった。
- 課 題**
- ・ 意見交換や情報交換の機会を望む声が多くあった。
 - ・ 今後も社会教育委員や行政担当者が委員の意義や役割を確認する場が必要である。

問合せ先 中越地区社会教育委員連絡協議会（担当：中村 英雄）TEL：0258-38-2652